

# ぎかいだより むらやま



写真/  
村山アスレチッククラブ

<http://www.city.murayama.lg.jp> 携帯からはコチラ→





9月  
定例会

## 平成28年度 一般会計決算総額

# 138億5,754万円を認定

### 繰り越し8億825万円 前年度比約1億1,867万円の減



22区間を走る東部無料買い物バス

### 決算のポイント!

◎平成28年度決算は歳入138億5754万円で、歳出が130億4929万円となります。

前年度に比べて歳入では10億432万円の増となり、歳出でも11億2300万円の増となり、差額の繰り越し額は1億1867万円の減額となりました。

他に特別会計決算として7件、歳出合計7億2千260万円の認定を行いました。詳細については11月1日の市民の友をご覧ください。



平成28年度から3人体制になった地域おこし協力隊

### 補正予算のポイント!

一般会計予算は2億1千17万円を追加し総額133億3千631万円とした。

◎新たに家庭用小型除雪機を購入した際に補助するものです。

◎ふるさとづくり基金積立金として6千765万円積立するものです。

◎学童保育として低所得者世帯及び多子世帯への補助金を拡充するものです。

## 決算特別委員会



決算特別委員会委員長

茨木久彌

本委員会は、本会議  
において設置されたあ  
と、去る十月三日に委  
員会を開催し総括質疑  
を行い常任委員会を単  
位とする二つの分科会  
を設置し、予算の執行  
が適正かつ効率的に行  
われてきたか、また施  
策や事業の目的がどの  
程度達成され、市民サ  
ービスや福祉の向上に  
どのように貢献したか  
などの観点から慎重に  
審査を行いました。そ  
の結果、平成28年度決  
算9件については、い  
ずれも原案のとおり認  
定すべきものと決しま  
した。各分科会での意  
見を真摯に受け止め今  
後の行政執行及び予算  
編成に反映していただ  
くことを期待します。

どのよう貢献したか  
などの観点から慎重に  
審査を行いました。そ  
の結果、平成28年度決  
算9件については、い  
ずれも原案のとおり認  
定すべきものと決しま  
した。各分科会での意  
見を真摯に受け止め今  
後の行政執行及び予算  
編成に反映していただ  
くことを期待します。

### 総務文教分科会

○ミサイル対応のＪアラートについては、  
防災無線が聞こえに  
くいとの声があり、  
市民への第一報を早  
く確実に伝達するシ  
ステムの構築を要望  
します。

○市税の収納率向上は  
評価するところであ  
りますが、税目によつては  
低い状況もあり、市  
の健全な財政の根本

であり、負担の公平  
性を念頭に収納体制  
の強化を要望します。

○ふるさと納税は、「さ  
とふる」を利用した  
ことにより、前年度  
に比べ大幅に増え、  
評価するものです。

○学校給食は、児童生  
徒により美味しく安  
全な給食を引き続き  
提供されるよう要望  
します。

○ノロウイルス対策は、  
調理担当職員にマニ

ユアルを徹底される  
とともに配膳にたず  
さわる児童生徒にも  
衛生面の指導をされ  
るよう望みます。

### 産業厚生分科会

○村山市にあった農  
業を創るためには、  
様々な計画を「戦略」  
にあわせ補助金など  
を活用し、市の方向  
性を見失うことの無  
いように要望します。

○除雪は、きめ細やかな  
対応を行っているこ  
とを評価します。し  
かし、オペレーター  
の確保は重要な課題  
です。雪押し場の提  
供や地域との関わり  
が持てる効率的な除  
雪体制を要望します。

○福祉灯油券は、年々  
増加傾向にあり、大  
変喜ばれています。  
市が単独で実施でき  
るよう要望します。

○「待機児童ゼロ」の  
現状は執行部の努力  
を評価します。認定  
子ども園については  
保護者との意思疎通  
を図り、地域に密着  
した施設となるよう  
要望します。

○村山市には、優れた  
技術を持った企業や  
工場が数多く存在し  
独自の商談会や展示  
会を行っています。  
今後もコーディネート  
ターとの連携を図り  
市全体の生産額の向  
上に取り組みよう要  
望します。

### 議案

#### 条例

○村山市職員の勤務時  
間、休暇等に関する  
条例の一部改正  
（改正に伴い引用条  
文の整理を行うも

の）

○村山市職員の育児休  
業等に関する条例の  
一部改正  
（育児または家族介  
護を行う労働者の福  
祉に関する法律の一  
部改正を行うもの）

○村山市産業集積の形

成及び活性化のため  
の課税免除に関する  
条例の一部改正  
（法律の一部改正に  
より所要の改正を行  
うもの）

○村山市過疎地域固定  
資産税課税免除条例  
の一部改正  
（過疎地域自立促進  
特別措置法の一部改  
正に伴い適用期限及  
び対象事業について  
改正を行うもの）

○平成30年産以降の米  
政策の見直しに関す  
る請願  
（全会一致で採択）

### 請願

○「テロ等組織犯罪準  
備罪」を廃止するよ  
う国に求めること  
（賛成少数で不採決）

○平成30年産以降の米  
政策の見直しに関す  
る請願  
（全会一致で採択）

の選任

### 発議

○村山市政務活動費の  
交付に関する条例等  
の一部を改正する条  
例  
（政務活動費のより  
一層の用途の透明性

の確保を図るもの）

○村山市議会委員会条  
例の一部を改正する  
条例  
（任期満了による改  
選の規定の整備を行  
うもの）

### 意見書の提出

○平成30年産以降の米  
政策の見直しに関す  
る意見書

### 友好都市盟約の締結

○村山市はカナダ国オ  
ンタリオ州バリー市  
と友好都市の盟約を  
締結するものとする  
（青少年相互交流が  
続いている本市とバ  
リー市の友好を確立  
するため）

### 人事案件

○人権擁護委員候補者  
の選任  
（任期満了による再任）  
工藤 一男氏（西郷）  
小関 典子氏（楯岡）

○副市長の選任  
（任期満了による再任）  
齊藤 隆氏

# 新議会体制が決まりました

11月1日、2日に臨時会が開催され、正副議長の選挙をはじめ、議会運営委員会や各常任委員会委員等を選出し、新しい議会体制が決まりました。また、平成29年度村山市一般会計補正予算が提案され、全会一致で可決されました。



副議長 秋葉新一



議長 長南誠

## — 議長就任のあいさつ —

この度は栄誉ある二十五代議長にご選任を賜り、責任の重さを痛感するとともに身に余る光栄に存じます。

村山市は少子高齢化が進み生産年齢の減少等で財政事情も厳しく、多くの課題に直面しているところでありますが、近年駅西開発が進み大型ショッピングセンター初めとし、付随する店舗も張り付き、また駅西ホテルが年内オープンする予定であり、活気ある村山市が見えてまいりました。また楯岡高校跡地の利活用方法、都市計画道路改修等によっては商店街を初めとする、中心市街地の活性化に結びつくものと確信するところであります。

市民の願いは子どもの声、若者の声が溢れる「活気ある元気なまち」づくりと思われまます。市民の付託に応える議会の役割と責任は大きな物と考えるところであります。

公平、公正な議会運営に心がけ市民皆様の幸せに向け邁進する所存であります。市民皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ就任のご挨拶といたします。

### ◆議会選出監査委員

佐藤 昌昭

### ◆委員会等の構成

	総務文教 常任委員会	産業厚生 常任委員会	議会運営委員会	議会だより 編集委員会	地方創生対策 特別委員会
委員長	大山 正弘	川田 律子	海老名幸司	秋葉 新一	高橋菜穂子
副委員長	石澤 祐一	菊池 貞好	中里 芳之	川田 律子	矢萩 浩次
委員	秋葉 新一	長南 誠	大山 正弘	石澤 祐一	海老名幸司
	海老名幸司	茨木 久彌	結城 正	高橋菜穂子	中里 芳之
	中里 芳之	森 一弘	石澤 祐一	菊池大二郎	菊池 貞好
	結城 正	佐藤 昌昭	菊池大二郎	矢萩 浩次	犬飼 司
	高橋菜穂子	矢萩 浩次		犬飼 司	
	菊池大二郎	犬飼 司			



# ここが聞きたい 一般質問

## Q & A

本定例会の一般質問は  
9月27日・28日に10人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



事業は5～10年後を見据え

長南 誠 議員

**Q** 人口減は生産年齢減となり、市税減に結びつき財政の根幹に関わる。駅西中心に変わりつつあるが市長としての4年間の想いと、2期目への抱負、給料の減額について伺う。

**A** 人口減少は簡単に解決できない。出生数が少なく、死亡者数が多く減少となる。そこに着目し事業を進め5～10年後の村山に影響する。時代の変化に伴い事業の優先順も変え進める。市長給料の減額はしない。

**Q** 楯高跡地は跡地利活用検討委員会案で進むのか。また自動車教習所をヤマザワ西側に予定しているが、国道隣接（旧ポートピア地）にできないか。  
**A** 検討委員会6案を昼

夕方の人口がある文教施設が経済的に最適と思う。新設大学は難しく需要の多い看護科を村山産業高校の一学科として要望した。運用面経費増で県は難色を示している。バイパス隣接地一帯は一等地と考える。早急に一帯の

利用計画を立てる。  
**Q** 28年度国県への財源依存が62%と高い。今後大事業が予想される。財政計画伺う。  
**A** 歳出の見直しを進め既存の財源、国県の支援を含め財政計画を立て事業展開する。



完成間近な駅西ホテル



## 教育は未来を開く大きな力

秋葉新一議員

**Q** 市長の2期目の基本姿勢として、教育の充実を図るため重点的に予算を配分するとありますが具体的に何か。

**A** ①GOGO!GOGO!むらやま夢サポートスクール「てんとうむし」通称「さぼてん塾」  
②むらやま未来塾  
③市独自の給付型奨学金制度「夢応援奨学金事業」  
④英語指導主事の増員を初めとして更なる拡大策と充実を計る。

**Q** 全国学力テストの市の結果と今後の課題は。

**A** ①NRTは、偏差値平均で見ると昨年より向上している。  
②学力学習状況調査では、苦戦している。特に教科でみると算数・数学で、思考・判断・表現力が充分でない。



「GOGO むらやま夢プラン」の重要な事業「ふるさと教育の森」の様子

探究型授業研究校の拡大、算数・数学学力向上プロジェクト(仮称)の立ち上げの検討、子ども未来塾のさらなる充実で対応する。

**Q** GOGO!GOGO!むらやまインターナショナル、キッズ事業の成果は。

**A** サマーキャンプの実施を初め英語力を身につけグローバルに対応できる生徒を育てるねらいもある。さらに促進を図る。

**Q** 実用英語技能検定受験料への助成は、希望あれば。



## 市長の2期目の公約は何か

中里芳之議員

**Q** 無投票再選のため選挙公報もなく、多くの市民は市長の公約を知らない。何を公約したのか。

**A** (議員の)質問通告に書いてある通りだ。

**Q** 「市民生活環境のさらなる向上」「子育て支援を強化・発展」「教育の充実」とあるが具体的に何をやるのか。

**A** 見えるところでは、ここ1・2年は「教育の充実」にあてていきたい。

**Q** 高卒までの医療費無料化や学校給食の無償化は実施しないのか。

**A** 現時点では難しい。

**Q** 前回公約では「財政再建の一環」として「市長報酬の50%削減」が最大の目玉だ

ったが、財政がいまだ厳しい中で市長給与削減をやめてしまうのはなぜか。

**A** 選挙の道具として報酬削減というのは良くないと、四年間で考えた。

**Q** 「選挙の票目当てだった」と自ら認めたも同然だ。統合保育園の問題では業者の選考において重大なミスがあった。行政の長として自分の給与を削減し責任を取るべきだ。

選挙の道具として報酬削減というのは良くないと、四年間で考えた。

1. 市民生活環境のさらなる向上

2. 若者の定住促進に向け子育て支援を強化・発展

3. 教育の充実

議論になった市長二期目の公約 (要約)





## 憲法改正に反対を

結城 正議員

**Q** 安倍首相は、2020年までに憲法改正を狙っている。

**A** 憲法が改悪され、戦争に巻き込まれるようなことがあれば、市民の命・生活が脅かされる。戦後守ってきた日本国憲法をこれからも守っていかねければならないと考えるが市長の考えはどうか。

**Q** 景気が低迷する中、非正規労働者の増加などにより、貧困が増え、格差が拡大している状況にあり、市民の少なくない方々が困難を極めている。

**A** 貧困・格差を止めなければ市政も立ち行かなくなると思われるがこのような状況を打開するために、市長はどう考えているのか。



平成31年度開通を見込む（仮称）村山インター付近

**Q** 貧困・格差をなくすには、賃金を上げていかなければならない。

**A** 市長の2期目の目標として、東北中央自動車道の早期開通と、駅西開発などを進

めなければならぬと考えるが見通しはどうか。

**A** 東北中央自動車道の開通は、平成31年度を見込んでいます。駅西開発などの開発は、早期に進めていく。



## 東沢バラ公園内のため池などを 利用した5大湖構想

菊池大二郎議員

**Q** 大沢、東沢、湯沢ため池、莫井、大倉堤を5大湖として、観光資源で活用。例えば、バラ公園内にあるため池に飲食可能な屋形船を出す。他にはまねの出来ない事業だが、

**A** 伸びる可能性もあるが、まずは人口減少問題に力を注ぐ。

**Q** 屋形船は教育資源にもなる。遊びながら湖の上で教科書では味わえない本物の学び。やれない話ではない。定住人口確保のためにも交流人口の確保が必要。いずれにしても文化を知る、楽しむという前提なくして文化を売り込むという本当の観光の成熟は有り得ない。

**Q** 全国住みよさランキング2017にて13市最下位。それを踏まえ、市長2期目に



安全性を配慮して使われていない貴重な資源を活かしていく

掲げるベッドタウン構想とは。

**A** 東根、天童などの通勤30分圏に接する地域として工場誘致よりも優良な住宅造成を念頭に置いている。

**Q** 今回の衆議院総選挙にて政府は消費増税分の用途変更提示。

仮に政府主導による幼児教育無償化が実現されれば、本市の第一子保育料半減などの一般財源約6千万円を原資に次なる一手を打てるかどうか。

**A** 月々の子育て手当の増額などを検討。



## ブルガリアとの経済交流について

菊池 貞好 議員

**Q** ブルガリア新体操チームのローズキヤンプは十分な成果を上げることが出来たが、その後のブルガリアとの経済交流はどう進めていくのか。

**A** ブルガリアとはバラつながらりで交流が始まったわけだが、これからはブルガリアと連携をとり、双方が大事にしているバラに関する新商品を開発するなどしてバラの街というイメージ強化を図っていきたい。そして地域経済活性化や交流人口拡大につなげるべく市内の事業者や金融機関、マーケティングの専門家など今後多様な関係者によるプロジェクトの立ち上げなどを計画している。



最上川三難所舟下り

業者と話し合いをして他の観光地との周遊コース作りなどで新たな村山市の観光資源としたりどうか。

**A** 最上川三難所舟下りは本市にとって重要な観光資源であるが、民間の事業者と

連携をとり、バラ公園やさくらんぼ狩りなどとの周遊コースを作りワンコインタクシーなどを利用した新たな最上川を軸にした魅力的な観光事業を、これからも広く発進していきたい。



## 市民一人一人が元気になるために

矢萩 浩次 議員

**Q** 様々な仕掛けで元気で活気があり賑わいのあるまちづくりを目指し、交流人口の拡大が雇用を生み定住にも繋がるかと考えるが

**A** ふれあいや交流が大事であり、市民にとって実りがあり文化的交流のある交流人口を目指す。

**Q** 東沢公園のイベントのない期間、アウトドアスポーツや五輪新競技等をイベントに取り入れてはどうか

**A** 通年可能なイベントも大事ととらえこれから可能性を検討していく。

**Q** 「ドローン」を各種イベントや行政サービス、災害時対応など可能性があると思えるがどうか。

**A** 慎重に多方面から検討し、色々な使われ方が出来るものと

今後を注視していく。

**Q** 健康寿命をより長く、「不健康期間」を縮めることがこれから各々にとっても大事と思うが。

**A** 重要な問題ととらえ、コンパクトで実効性のある事業を展

開していく。

**Q** 子ども達が将来住み続けたいと思いつき将来の定住に結び付き取り組みについて

**A** ふるさと村山を愛する子どもに育ててほしいと願い手を尽くしている。



東沢公園：秋のバラまつり







## 冬の営農について

海老名幸司 議員

**Q** 2年前の北陸新幹線開業を契機に山形新幹線のフル規格化が問題になっているが山形駅以北については一部に懸念を示す意見もある。そこで本市はどのように考えているかその方針をうかがいたい。

**A** 本市には時間短縮のメリットはあまりないかもしれないが、県全体のことを考えると進めるべきだと考えている。

**Q** ある農業は粗生産額が20年にもわたり減少し続け退潮傾向が著しい。こんな状況下での農業振興は他事業並みの収益が確保できる事業を中心課題として農業振興を計っていく必要があると考える。その一環として、冬の営農をどう確保してい

くかが非常に重要と思われるが県の元気再生戦略において「園芸大園やまがた」の実現に向けて大規模な園芸用地造成計画がある。そこで本市もこれに名のりを取り組んでい

く必要があると思うがどう考えているか。  
**A** 現在、県の方から打診もあり農業の振興に向けて積極的に取り組んで参りたいと考えている。



フル規格化が問題となっている山形新幹線

## 審議結果報告

(9月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ					日本共産党 村山市議員		改革クラブ			無会派		賛成	反対			
			矢萩浩次	高橋菜穂子	石澤祐一	長南誠	秋葉新一	茨木久彌	海老名幸司	川田律子	中里芳之	犬飼司	菊池大二郎	結城正			菊池貞好	佐藤昌昭	大山正弘
市長提出議案 決算	平成28年度決算 一般会計・国民健康保険事業・ 公共下水道事業・財産区・農業 集落排水事業・介護保険事業・ 後期高齢者医療事業・水道事業	可	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	監	○	議	12	2
請願 2号	テロ等組織犯罪準備罪を廃止するよう国に求める	否	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	議	6	9	

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可 = 可決    否 = 否決    ○ = 賛成    × = 反対    欠 = 欠席    退 = 退席



# 百問は一見にしかず!!

## よりよい行政のための 視察 レポート

### 林業活性化

#### 議員連盟

視察 10月16日

集成材の工場である協和木材株式会社の新庄工場を視察した。原木の製材から、集成材への加工まで全ての工程が機械化されており一ヶ月の原木消費量は1万立方メートル、製品生産量は3千立方メートルである。

周辺に原木が豊富であるとして新庄を選定し、約50パーセントを県内から調達している。



集成材製造工程

供給先のほとんどは首都圏であり、消費税の増税を前に住宅バブルの影響で、売上は順調に伸びている。

近隣に製材所があることは素晴らしいが、本市の林業にとっては切り出しにかかる費用が課題である。

舟形の若あゆ温泉近くにある(有)舟形マツシユルームを訪問し、社長の長澤光芳氏より会社概要ならびに、農業経営について講話を頂いた。

2001年より生産を開始したマツシユルームの生産量は、年間140tとなり、加圧殺菌釜を導入した加工所を整備して六次産業化している。

### 議員政策

#### 形成セミナー

10月2日



講演する土山先生

尾花沢市議会が企画

した議員政策形成セミナーに参加し、一般質問について学んだ。講師は、龍谷大学教授土山希美枝先生で、議会活動における一般質問の役割や、効果的な質問の方法など、様々な事例から説明を受けた。一般質問を個人のもので終わらず政策形成に活かす仕組みを考へることを提案して頂き、今後の議会運営に活かしていきたい。

### 地方創生対策

#### 特別委員会

研修会 8月9日

特別委員会を中心に議員と執行部が共催で企画し、東京農業大学教授の木村俊昭先生を講師に迎え、約80名が参加した。地方創生にとって大切なことは、自分の街を知ることであると小樽市役所職員であった自身の経験を交えた講話を伺った。また、現場を歩くことで課題解決のヒントを



講演する木村先生

得られるという指摘は、業務の整理と改善が市役所内で必要であるという提案であった。職員と市民と共に、講演を聞いたことは、地方創生への取組みにとって良い刺激となった。

### 山形県議会議長会

#### 議員研修会

8月8日

山形ビッグウイングにおいて、都市の魅力再生とインバウンド化という演題で東京大学名誉教授の月野嘉男先生より学んだ。

インバウンドには、可能性が秘められているが魅力となる資源は足元にあり、地吹雪やノラネコ、クラゲなど極限の過疎までもが工夫次第で魅力になるという事例をご紹介いた

だった。

政府主導の政策には失敗例もあり、単にチームに乗るようなことは危険だとのこと指摘もあつた。

### 三市一町議会議員

#### 交流会

7月7日

北村山三市一町議員交流会をクアハウス基点と市民体育館で実施した。近年健康づくりで流行している『スポーツ吹き矢』を行った。初めての経験であったが的外すことなく、予想外の成績であった。その後クアハウス基点で、人口減少で悩む市町があり、広域連携の在り方について意見交換を行った。



スポーツ吹き矢の様子

# 市民の声

エコ・ノーサン宮林



宮林 徹さん (湯野沢)

22年前微生物の先生と出あって感銘を受け、また多くの方々と出あい(私の財産)現在に至る。

そして、エコ・ノーサン宮林として肥料等の販売と農産物直売を行っている。循環型農業を行うことに依り減農薬や無農薬栽培が可能となる。土のPHは人の体温に例えられる様に人の体と土壌は似ている。健康(土壌)診断は大切である。今は内陸地方一円に回っているが、家庭菜園のグループでうまい野菜を作って楽しんでいる人々から、驚異的な収益を上げて

いる専業農家までいる。これらは特別な物を使用している訳でもなく土作りに力を注いでいるのです。ここ数年来からサクランボ栽培で園地全体 2L 玉の比率が7割とか8割に達している農家が次々として来た。又、葉摘や摘果をしないでL玉を作っている人もいる。これらは単なる思いつきではなく科学的なエビデンスがあるのです。



## 〈表紙写真〉

村山アスレチッククラブは、市内全域の幼児から大人までを対象に、陸上競技を主に活動している総合型地域スポーツクラブです。週に2~3回の活動を通して、体力作りをはじめ競技力の向上を目指しています。各年代や種目に合わせたプログラムを用意していますので、お気軽にご参加ください。



## 市議会のしくみ



みんなの知識

### 予算決算特別委員会設置について

#### ①特別委員会設置

○議長の提案により、その都度会議に諮って設置します

#### ②委員会の構成

○予算特別委員会は議長を、決算特別委員会は議長及び議会選出の監査委員を除く議員で構成します

#### ③正副委員長の互選

○委員会の話し合いで、その都度選出します(副議長、各常任委員長は除きます)

#### ④付託案件

○当初予算、決算内容を審査します

#### ⑤質疑内容

○質疑時間は質疑のみで15分以内です

○質疑事項は、原則として所属する常任委員会以外とします

### 議会だより編集委員会



委員長 川田 大山  
副委員長 川田 律子  
委員 高橋 正 長南 誠  
結城 正・石澤 祐一  
高橋菜穂子・菊池大二郎

### 議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本議会だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中

詳しくは、<http://www.gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>

村山市議会→議会中継(ライブ中継・録画中継・外部リンク)より